

- ① 前回参加いただいた皆様のご感想
- ② 最近のトピック（各省報道発表資料等）
- ③ 事前にいただいた問題意識等共有
- ④ 2024年問題の背景、物流への影響、政府・国会の動き
- ⑤ トラックGメン制度、新たな方針について
- ⑥ ハコベル(株)のサービスについて（担当者説明）
- ⑦ 原価計算・運賃交渉(交渉編)について
- ⑧ **参考資料紹介**
  - ・ 2024年問題への対策（政策まとめ、国会質疑等）
  - ・ 標準的運賃・標準貨物自動車運送約款・運賃交渉について
  - ・ **働きかけ・要請の実施事例**
  - ・ 物流効率化に向けた取組み事例紹介

# 働きかけを契機に改善が行われた例

## 働きかけが荷主等の具体的な対応(施設整備・契約改善)を後押し

### ○長時間の荷待ち解消

- ・入庫混雑時間帯の分散や荷受け開始時間の前倒し、仮置きスペースの確保を実施  
⇒長時間の荷待ち状況が大幅に改善。(着荷主が対応)
- ・専用バースの確保、荷受・仕分要員の配置、到着時間の設定(17:00の定着化)  
⇒平均滞在時間が「30分未満」まで大幅改善 (元請運送事業者が対応)

### ○依頼(契約)になかった附帯作業

- ・作業範囲、運送料金、作業附帯料金をそれぞれ分けて契約を締結  
(元請運送事業者が対応)

### ○適正取引における運賃・料金等の不当な据置き

- ・燃料サーチャージ全額支払、トラッシュ比率分差引きを廃止 (真荷主事業者が対応)

### ○過積載運行の要求

- ・協力会社と調整を図り、一部4 t車両から大型車両へ変更 (元請運送事業者が対応)
- ・積荷重量を把握できる配車システムを構築 (元請運送事業者が対応)

# 働きかけの実施事例(一部)

## ○長時間の荷待ち

(製紙卸会社・発荷主)  
～東北、中国運輸局管内

《相談者からの申告内容》

- 朝に受付しても、伝票発行が早くて15時。遅い時では18時。
- 配送先決定、伝票発行が遅く、積込み開始遅延、5時間以上待機。

～働きかけ後、以下の対策を**発荷主側が実施**。

- 積込み用バースの見直し(増加)を実施
- 場外倉庫に積荷のバーコードの読み込みシステムを導入(工場へ戻る時間の削減に寄与)
- 新たな倉庫建設による横持ち移動時間の削減も検討



## ○過積載運行の要求

(運送事業者・元請)  
～中部運輸局管内

《相談者からの申告内容》

- 荷台の天井まで、物理的に積めるまで荷物を積まされる。

～働きかけ後、以下の対策を**元請側が実施**。

- 協力会社と調整を図り、一部4t車両から大型車両へ変更
- 積荷重量を把握できる配車システムを構築し、協力会社と連携し、重量の分散化を実施
- 同種事案の防止として、社内幹部会議において情報を共有、その後、社内全体へ迅速に情報展開



## ○依頼(契約)になかった附帯作業

(運送事業者・元請)  
～近畿運輸局管内

《相談者からの申告内容》

- 運送内容を規定する正式な契約書を持っていない。
- 仕分け作業料、積込料の負担をお願いしているが、支払ってくれない。

～働きかけ後、以下の対策を**元請側が実施**。

- 協力会社と個別に協議を開始。作業範囲、運送料金、作業附帯料金をそれぞれ分けて契約を締結
- 契約締結にあたり、各社の法令遵守にかかる状況を再確認



## ○異常気象時の運行指示

(食品物流会社・発荷主)  
～関東運輸局管内

《相談者からの申告内容》

- 大雪警報が発令されているにもかかわらず、配送を依頼された。

～働きかけ後、以下の対策を**発荷主側が実施**。

- 災害時の対応マニュアルの見直しを行い、配送先とも連携し、ドライバーの安全を最優先とした対応を行うことを改めて徹底
- 予め荒天が予想される場合、運送事業者の判断による運行の中止について、配送先と連携し検討

